

潟でもいよいよADC（アートディレクターズクラブ）がスタートしました。デザイン集が今後、大きなホテルのロビーなどで目に留まるようになって行くと思います。建築でも身近な先輩が評価されて来ています。今ここに来て新潟のデザイン界は大きく進化しています。これからが楽しみです。一緒に頑張ってきたと同時に若かりし私に大きな影響を与えてくれた仲間達が少しずつ世の中に認められてきた事を本当に嬉しく思います。これか

らも人や生き方にこだわって建築やインテリアという意思表示の場で器用ではないので悩み事は多くありますが、「悩んだ分だけ良くなる」と自分に言い聞かせながら行きたいと思っています。そして何よりも今日という日を迎える為に近年にない程、悩みながら原稿書きをさせて頂いた事に深く感謝致します。ありがとうございました。

11月のお祝い

誕生日		結婚記念日	
会 員	ご夫人		
齊藤 興一 8	丸山 淑子 8	柄沢 憲司・佑子 3	
阿部 勝子 9	佐藤ミチ子 9	小林 幹扶・明美 3	
小林 幹扶 10	落合千鶴子 16	青木 省一・征子 5	
佐藤 義英 18	堀川美智子 18	山口 龍二・ミチ 7	
坂内 康男 18	大竹 チエ 19	米山キクエ・定夫 9	
丸山 勝 26		丸山 勝・江利子 10	
岡田 大介 27		丸山 正男・夏子 11	
山本 賢 29		今井 克義・房子 14	
		堀田 正弘・千鶴子 17	
		齊藤 興一・玲子 20	
		白倉 昌夫・満江 22	
		石丸 進・咲子 23	
		駒形 実・隆子 30	



雨の観戦を終えて（10月27日ビッグスワンにて）



三條北ロータリークラブ週報

例会日2007. 10. 30 累計 No.1012 当年No.17

例会日：火曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場：三條ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
 事務局：三條市本町 3-5-25 三條ロイヤルホテル内
 TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
 ホームページ：http://www.sanjo-nrc.org
 メールアドレス：north@sanjo-nrc.org

国際ロータリー会長
 ウィルフレッド J.ウィルキンソン
 地区ガバナー
 渡辺 敏彦
 北クラブ会長
 山中 正
 幹事
 小林 繁男
 SAA
 安田 貞夫



会長挨拶

山中 正会長



本日もメンバーの皆様には例会にご出席頂き誠にありがとうございます。
 さて、先週の土曜日の10月27日は社会奉仕委員会による『ハンディキャップを持った人たちをお連れしてのサッカー観戦』の事業が開催されました。担当の社会奉仕の星野委員長さん、委員会の皆様、また当日ご協力頂いたメンバーの皆様には大変ご苦勞様でした。

当日はあいにくの雨で肌寒い一日となりました。そんな中でも対象者とそのご家族が20人程、そして当クラブ関係者が25名程参加して頂きマイクロバス2台でビッグスワン新潟スタジアムへ向かいました。参加された対象者の中で一番重症のご家族は寝たままの状態であり自分の意思を伝える事すら出来ない、そんな障害者でいらっしやいました。決してサッカー観戦などにお出でになれる環境ではないと思います。しかし、チャンスがあれば我が子に色々な体験をさせたい、そんな想いがお母さんにあったのだらうと思います。付き添いのお母さんは何枚ものお子さんの写真を撮影していました。一生懸命生きている我が子の姿を、せめて写真に収めておきたいのでしょうか。このご家族のお世話をして頂きました駒形会員には大変ご苦勞様でした。

帰りのバスの中、自分の意思を伝える事の出来る障害者の多くは「また来たいね」と言っておりました。付き添いの保護者の方も解放的になられたのでしょうか、アルビのサポーターの歓声と共にはいしやいでおられました。幸いトラブルも無く、参加された皆様がそれぞれの胸に感動を得て頂いた事業になったと思っております。参加させて頂いた私も、障害者（弱者）への福祉と言うものをあらためて考えさせられた一日でした。

さて、本日はGSEメンバーの受入れがごさいます。午前9時30分に前日の担当クラブである分水RCから引継ぎ、明日まで市内4RCでお世話を致します。当クラブからは国際奉仕の岡田委員長さん、駒形副委員長さんから他クラブのメンバーと共にGSEメンバーの

本日の出席：
 68名中36名
 先々週の出席率：
 68名中42名61.76%
 （前年同73.77%）

先週のメイクアップ：（敬称略）
 10月25日三條東RCへ
 山上茂夫さん
 27日社会奉仕事業
 （サッカー観戦招待会）
 （敬称略）山中 正、小林繁男
 星野義男、外山裕一、西村 護
 青柳康博、大野新吉、岡田 健
 小林 満、駒形 実、坂井太一
 梨木建夫、馬場直次郎、坂内康男
 堀川正幸、本間建雄美、神田敬宏
 米山キクエ

28日CLPセミナー（新潟）
 山中 正、小林繁男
 30日GSE企業訪問同行
 岡田 健、駒形 実
 落合益夫
 30日柏崎中央RCへ
 中條耕二、斎藤 正

本日のオブザーバー：
 米山奨学生
 フェブリ・アンドリアニさん

本日の行事：卓話
 「悩んだ分だけ
 きっと良くなる」

「ロータリーの友」

11月号紹介

*縦組み7頁・9頁
 「くらぶ探訪」
 ・小さいRC
 18頁
 「友愛の広場」
 ・ロータリーの発足...
 30頁ニコニコボックス

皆さんを一日お世話して頂きます。三条市長の表敬訪問、三条新聞社さんの企業訪問を終え、丁度今頃は南 RC の企画で『雷神』というお店で昼食を頂いておられると思います。そして、その後ムサシさん、コンピューターシステムさんの企業訪問をさせて頂く予定です。夕方には饒心亭おゝ乃へ会場を移し、4 RC 合同の歓迎会が開催されます。

二人の女性 GSE メンバーがホームステイされます大野宅、大野先輩、ご家族様には多大にご負担をお掛け致します。宜しく願い申し上げます。



幹事報告

小林繁男幹事

- ・白根 RC、渡辺 GB より 講演会のご案内
日時 11月10日(土) 15:00～
会場 白根学習館
講師 山田栄一氏 「いじめ・不登校・非行はこうすれば防げる」
- ・馬場 GB エレクトより
地区役員推薦のお願い
- ・見附 RC より
創立25周年記念式典のご案内
平成17年12月2日(日) 10:30～
会場 ホテル「つるや」

コニコボックス：30日現在累計459,000円

- 山中 正君 先週の土曜日に開催されました『社会奉仕事業・サッカー観戦招待会』ご苦勞様でした。本日卓話、堀田さんご苦勞様です。
そしてフェブリさんこんにちは！
- 佐藤 文夫君 堀田さんの卓話を楽しみに久しぶりに出席いたしました。ガンバッテ下さい！
- 西村 護君 10月27日の社会奉仕事業参加いただきましてありがとうございました。招待したハンディキャップをもたれた方とご家族に喜んでいただきました。心より御礼申し上げます。
- 齊藤 興一君 堀田さん済みません早退します。卓話次週、週報で読ませていただきます。
- 星野 義男君 堀田正弘さんお卓話に感謝して！！
- 小林 満君 堀田さんの卓話楽しみです。
- 高森 武志君 堀田さんの卓話、楽しみにしておりましたが、急な仕事で本字地欠席となりました。m(_ _)m 週報で拝見させていただきます。ガンバッテ下さい。
- 加藤 實君 ボックスに協力
- 山崎 勲君 //
- 米山 忠俊君 //
- 阿部 勝子君 堀田さん卓話よろしく願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会：

社会奉仕事業11/17(土) 食育体験協力
のお願い 小中学生親子100組の参加を呼びかけて魚市場、厚生会館を会場として開催します。会場設営、駐車場案内等会員の皆さんからお手伝いいただくことになります。ご協力をお願いします。

も豊富になって住まいを考えるとクライアントにとってはとても重要な選択になってきています。本来、建築の中では、それらは全て脇役的な存在だと思うのですが、でも選ぶ人の好みというものが大きく反映出来る分野なので1人1人のお客さんの趣味性や個性、立場などの要素を地震を持って提案することはできません。

私の所のショールームでも実際に色々なサンプルを見てもらい相談しながら決めていくんですがいざとなると、これから一生住むんだから慎重にとか失敗は許されないとか意外とプレッシャーがかかってしまいなかなか決心がつかない状態に陥るものです。私もしばしばこんな状況に出会います。時には夕方から夜遅くまで延々と打ち合わせが続く事も珍しくありません。そんな時よく言うんですが「悩んだ分だけきっとよくなりますよ！」って。それは自分の心にも言い聞かせる言葉としての意味もあります。時には「解らないから任せるよ」なんて言われることもあります。でも「行きつけの寿司屋さんのカウンターじゃないんだからお任せコースなんて訳にはいきません。」そんな時は、それまで出てきた話を整理し、お互いの息が合う所までまつことが必要な時もあります。

人間、理性的な面では親子や夫婦で同じ理解の線まで行くことが出来ても、感情的では全く違う場合も当然あります。やはり理屈で理解するという事と感情的に納得するという事は案外、別の次元なんだな～と感じるときですね。でも住まいに対する思い入れは、やっぱり女性の方が強い場合が多いですね。時には夫婦や家族の中でルールが無い格闘技の世界に入ってしまうお客さんもいらっしゃいます。そして最後には疲れ果てて・・・私も一緒に！そんな時、いつも「悩んだ分だけ間違はなく良くなりますからね」それはそう言って励ましてあげないと本当にいい物にはたどり着けないと私は思っているからです。例えばそんな「思い入れ」っていう点では子

ども達が没頭して作った工作の本立てが、なぜか大人になっても一生、捨てられずに思い入れのある物としていつまでも大切に持っていたりもします。そんな物が気がつくとな身の廻りにあったりした経験を持っている人も少ないと思います。

そんな物に住まいをちょっとだけ近づかせてあげられたらいいなっ、と思っています。「思い入れ」っていうのは「思い悩むこと」でしか得られないもののように思います。又、暮らしを提案するものとしては、道具を持つことよりも持ってから先に見えてくるものを作り上げていく。そんな仕事に関わらせていただく中にはいろいろと苦勞も多い部分がありますが、でもやっぱりお客さんと苦勞して作ったものが美しく調和してお客さんに喜んでもらえた時この仕事をしていて本当に良かったと思います。

だから、こういう仕事をする人に求められるのは感性や発想力はもちろん大切ですが、むしろお客さんの心の中にある要望を引き出していく。それを待つ根気みたいなものでしょうか？技術者としての能力としては、単に感性だけではなくむしろ過去の体験の積み重ねの中にある、判断で正解に達する事の方が大きいと思います。やはり手間暇かけないと、いい物は生まれませんね。

又人間関係の中では、丁寧さを「謙虚」に心の中に持っていようと心がけていないといけないと思っています。

それから最後になりますが、この仕事の中で今の私に大きな部分で影響を与えてくれた地元のデザイナー達の話をしただけだと思います。私がこの仕事に就いた頃ですが、当時はまだまだ新潟ではデザインに対する認知度も低い時代でしたが、その中で頑張っていた仲間がいました。当時、その中で彼らが将来、新潟のデザイン界ではきっと草分け的な存在になるんだ！なんて夢見ていた頃がありました。

今グラフィックデザインの世界では、今年新